

第2回 定例会

リバートピア吉岡 純利益は147万円の増加



リバートピア吉岡

27年第2回定例会は、6月5日から17日までの13日間の会期で行いました。今定例会では、議案3件、発議3件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。また(株)吉岡町振興公社の経営状況報告を含む3件の報告がありました。

(株)吉岡町振興公社の経営状況報告

入館者数は1万3331人の減

26年度の(株)吉岡町振興公社の経営状況報告がありました。

リバートピア吉岡の年間入館者数は、31万8519人で、前年より1万3331人減少しました。しかし、当期純利益は、513万円で、前年より147万円増加しました。

【質疑】

問 入館料の値上げ以降、入館者数が減少して

いるが、対策はないのか。

答 入館者がただ増えれば良いというのではなく、入館者の満足度を高めることで収益を上げていきたい。

問 設備の老朽化による修繕、備品の更新などは、計画的に行うべきではないか。

答 老朽化による修繕が必要なのは、公社でも把握している。しか

し、大規模修繕となると休業しなければならぬ。経営とのバランスを考えながら、取り組みたい。

問 30万円以上の修繕費などは、まちの負担となっているが。

答 今後、利益を内部留保しておき、30万円以上というところにこだわらず、修繕に充てていきたい。

問 ケイマンゴルフ場の利用者が、グラウン

ドゴルフ、パークゴルフに比べ少ない。利用者の多い他のゴルフ場にする考えはないか。

答 ケイマンゴルフは、利用者が増加しており、また、利用単価が高い。現段階では、継続していきたい。

繰越明許費

平成26年度から平成27年度に繰り越す事業

歳出予算の経費のうち、年度内に支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に限り予算を繰り越して使用することを「繰越明許」といいます。

26年度は、国の地方創生先行型事業（※印）があったため多くなっています。

ミニ解説

地方創生先行型

地方の積極的な取り組みを支援する自由度の高い交付金で、国の26年度補正予算で先行的に創設された。

(万円未満は四捨五入)

事業名	翌年度繰越額
社会保障・税番号制度システム（厚生労働省分）整備事業	580万円
吉岡町人口ビジョン・総合戦略策定業務（※）	938万円
放課後児童見守りパトロール事業（※）	230万円
防犯カメラ設置事業（※）	349万円
県議会議員選挙費	114万円
私立保育所施設整備補助金（吉岡町第四保育園）	1億9,472万円
保育所定員増に伴う備品設置補助金（吉岡町第四保育園）	200万円
児童館耐震改修設計業務	200万円
子育て相談支援事業（※）	84万円
被災者向け経営体育成支援事業	1億5,919万円
道の駅「よしおか温泉」情報発信イベント事業（※）	80万円
道の駅「よしおか温泉」情報端末設置事業（※）	637万円
道の駅「よしおか温泉」無料Wi-Fiスポット設置事業（※）	78万円
船尾静思像周り柵補修工事	30万円
ぐんま新技術・新製品開発推進事業（※）	40万円
プレミアム付き商品券発行事業	2,767万円
駒寄スマートIC大型車対応化事業	2,385万円